

令和2年第1回(3月)大郷町議会定例会一般質問通告書

目 録

1. 石垣 正博 議員
 - 1) 台風19号から学ぶ減災について
 - 2) 大郷小・中学校における教育課題について

2. 千葉 勇治 議員
 - 1) 災害復興について
 - 2) 小・中学校の不登校対策について
 - 3) 人口減少対策の一環としての公営住宅整備について

3. 大友 三男 議員
 - 1) 財政状況について
 - 2) 被災者支援(自立再建)について
 - 3) 役場庁舎の建て替えについて

4. 石川 壽和 議員
 - 1) 縁の郷について
 - 2) 開発センターについて
 - 3) 内水対策について

5. 和賀 直義 議員
 - 1) 台風19号災害の復旧・復興について
 - 2) 「町民が安心して暮らせる健康なまち」の施策について

6. 熱海 文義 議員
 - 1) 新型コロナウイルスの対策について
 - 2) 東日本台風災害の復興について

7. 吉田 耕大 議員
 - 1) 防災事業について

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 台風19号から学ぶ減災について</p> <p>今回の台風19号で一番感じたことは、予想外の雨量とはいえ、排水の処理能力が極めて低いということだ。排水処理が早ければ、それだけ復旧・復興も早くなる。町全体の排水の見直しが必要である。</p> <p>(1) 昨年12月の定例議会で町の答弁書に、さらなる排水機能の強化について関係機関に強く要望するとあるが、具体的にどのような要望をするのか伺う。</p> <p>(2) 国に対し排水ポンプ車等の要望をすべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(3) 東成田、西光寺川の三嶽橋付近は、大雨の都度、内水による被害が出る。排水機能の強化を図るべきではないのか所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 大郷小・中学校における教育課題について</p> <p>学校は時代によって、または社会環境によって変化していくものと思う。現在、学校では不登校、いじめ等、様々な課題が多く存在している。課題解決はもちろんのこと、時代に合った教育も推進していかなければならない。子どもたちの教育は関係者だけでなく、オール大郷での取り組みが必要と考える。</p> <p>(1) 新教育長としての学校教育に対する考え方について伺う。</p> <p>(2) 全国的に不登校が増加傾向にある。本町も例外ではない。県内でも本町は、不登校の生徒が多いと聞くが現状を伺う。</p> <p>(3) ICT環境について、国では各学校にICT活用できる、施設の整備に力を入れていくということだが、本町の現状を伺う。</p> <p>(4) 今年から小学3年生より外国語（英語）活動が必要となる。英語教育が強化されることに対し、本町の対応は十分なのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 災害復興について</p> <p>(1)被災者の住宅再建を主目的に取り組む宅地造成計画について、民間業者による土地取得及び開発・分譲を企画しているが、なぜ民間業者なのか町長の方針を伺う。</p> <p>(2)公民連携による「大郷町地方創生推進連携協議会」で考えている、住宅再建用地(民間分譲)の価格設定について、近傍の取引相場に準拠するとの説明だが、具体的な説明を求める。</p> <p>(3)町主催の台風19号災害に係る住宅再建支援説明会に、「譲渡型賃貸住宅 家賃の実る家」についての宣伝をされていたが、リネシス(株)と町とは「包括連携協定」の中でどのような関係にあるのか伺う。</p> <p>(4)台風19号による災害について、既に被害集約がなされ支援予算が固まった後に災害箇所が発見された際の支援対策について伺う。</p> <p>(5)施政方針では早急に大郷町復興再生ビジョンを練り上げる予定だが、ビジョンと合わせ、堤防強靱化計画の中で吉田川の河川改修計画の全容を示すことが今後の被災者の再建計画にあたり急がれる。河川改修計画について、いつまでに詳細にわたる説明ができるのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 小・中学校の不登校対策について</p> <p>(1)小・中学校の不登校児童・生徒の実数について学年ごとの実態を示されたい。</p> <p>(2)これまで、その解決策として取り組んできた町独自の具体的な内容について伺う。</p> <p>(3)不登校問題について対象児童・生徒個々の保護者以外に、問題を共有する観点からPTAや教育委員会との協議会は行われていたのか伺う。</p>	

<p>(4)それらの児童・生徒は、この春には卒業、進級、あるいは入学などで、問題が先送りされることにより、子どもたちにとってはより困難な学校環境、生活になっていくことが予想される。そのことについて子どもの将来を見据えた場合、教育委員会ではどのように考えているのか伺う。</p> <p>(5)教育内容の多様化により、今後も不登校に陥る生徒が増加することが全国的に懸念されている。これまで以上の「不登校にならないようにする教育指針」、「不登校になってしまった際の対策等」の両面から具体的な備えが必要と思う。</p> <p>それらの諸課題解決に向け、今後どのように向き合っていく方針か。大郷町子ども心のケアハウス事業の取り組みも含め具体的な計画を示されたい。</p>	
<p>3. 人口減少対策の一環としての公営住宅整備について</p> <p>(1)人口減少対策の一つとして、本町の地の利や不動産の低価格である環境を活かし、新たに公営住宅を建設し、全国から注目を浴びている本町の「若者定住化政策や子ども支援事業」を通信網で伝えながら、県内外から入居者を募ることをまちづくり政策の大きな柱の一つにして、広く呼び込むことを提案し、考えを伺う。</p> <p>(2)平成13年2月に公営住宅「希望の丘団地」が完成して約20年が経過するが、外壁の劣化が著しい。人口減少対策として外部からの呼び込みによる定住化対策と併せ、現在公営住宅を利用している住民に対しても、将来にわたり長く住んでいただける対策の一環として、まずは外壁の張り替えをすべきと考えるが所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 財政状況について</p> <p>(1)令和元年度一般会計当初予算は 45 億 9,800 万円でしたが、10 月の台風 19 号による災害復旧・復興のための補正予算を含む令和元年度の一般会計予算が約 94 億円となったことに伴い、基金が減少し、町債が増加していることを、どのような認識でいるのか所見を伺う。</p> <p>(2)被災者支援策として、町独自に自立再建希望者 1 軒あたり最大 150 万円、修繕希望者には約 50 万円を支給するとしているが、町が提示した総額約 7,500 万円の財源をどのようにして捻出するのか町長の所見を伺う。</p> <p>(3)令和 2 年 2 月末現在、本町の債務は約 70 億円になっており、町民一人当たりで換算すると、約 87 万円の借金を背負っていることになっており、このような状況を改善する考えはないのか、町長の所見を伺う。</p> <p>(4)債務が増大すれば、将来の大郷町を担う若い世代に負担を強いることになると思うが、町長はどのような認識でいるのか所見を伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 被災者支援(自立再建)について</p> <p>(1)移転希望者の自立再建の移転地として、S さんの土地を民間会社に購入させて造成工事を行わせたほうが、町の公共事業で宅地造成するより安価で被災者に宅地の提供ができると町長は説明しているが、坪単価いくらで提供できるのか、安価だとする根拠を伺う。</p> <p>(2)中村地区の中でも、どのような経緯で S さんの土地になったのか伺う。</p> <p>(3)移転地として民有地以外の土地などの検討はしなかったのか伺う。</p> <p>(4)既に整地されている旧黒高大郷校跡地(グラウンド、体育館)等、町有地を住宅再建地として提供したほうが、造成費用がほ</p>	

<p>とんどかからずインフラ整備費用なども安価で済むと考えられることから、公共事業として工事を行うほうが安価で宅地提供でき、被災者の負担軽減になると考えるが町長の所見を伺う。</p> <p>(5) 賃貸型譲渡住宅を利用して再建する方法にも、150 万円支給すると説明しているが、被災者名義ではない賃貸住宅の建物に対し 150 万円支給することは、自己責任で住宅ローンを利用して再建する方との整合性が取れないと考えるが町長の所見を伺う。</p> <p>(6) 自立再建できない被災者を対象に、町長は「役場近くに公営住宅を整備する」と、報道関係のインタビューで発言しているが、なぜ入居先が高崎団地公営住宅に変更になったのか伺う。</p> <p>(7) 被災者が高崎団地公営住宅に入居する場合、どのような家賃設定を行うのか伺う。</p>	
<p>3. 役場庁舎の建て替えについて</p> <p>(1) 役場庁舎は昭和 54 年に建築されてから 40 年が経過し、東日本大震災の影響もあり老朽化が進み、法定耐用年数 50 年まであと 10 年と迫っている。庁舎建て替えのための、特定基金を創設し 10 年間で 10 億円から 20 億円の積み立てを行いたいとのことだが、間違いなく 10 年で 10 億円以上の基金積み立てが出来るのかどうか町長の所見を伺う。</p> <p>(2) 積み立て目標の最大 20 億円を積み立てできたとしても、20 億円で建設できるのかどうか、出来るとするのであればその根拠を伺う。</p> <p>(3) 建設資金が不足した場合、財源をどのように確保する考えなのか町長の所見を伺う。</p> <p>(4) 大郷町庁舎建設基金条例(案)の第 6 条に繰替運用規定があるが、このような特定目的基金の繰替運用を容易にしては、特定基金にする意味がなく、庁舎建て替え費用積み立てという目的が果たせなくなると考えるが町長の所見を伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 縁の郷について</p> <p>縁の郷の現状は、町からの1千万円弱の指定管理料で運営が出来ていると思われる。この先、この現状が改善するとはとても思えないが、今後の縁の郷のあり方をどう考えているのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 開発センターについて</p> <p>現在、開発センターは公社に指定管理料を支払い、管理を委託している。平成31年4月からセンター内にまちづくり政策課の公民連携室が設置されたが、管理は公社に委託されたままである。次の点を伺う。</p> <p>(1)委託している業務内容は。</p> <p>(2)管理業務に要する人員と時間は。</p> <p>(3)公民連携室で管理すべきでは。</p>	
<p>3. 内水対策について</p> <p>昨年の台風19号により、吉田川の堤防が決壊し、中粕川地区等に甚大な被害が生じた。それと併せて内水による被害も大きかった。用排水路や水田の畦畔等の被害は、それが原因だとすれば早急な対策が必要なのではと考え、次の点を伺う。</p> <p>(1)内水被害を軽減するための対策をどのように考えているのか。</p> <p>(2)土取場、太陽光発電施設等の影響が大きかったと思うが、規制等が必要なのでは。</p> <p>(3)ため池(堤)の維持、管理の現状は。また、修繕、改修の必要性があるのでは。</p> <p>(4)吉田川流域の支流河川の改良が必要と思うが。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 台風19号災害の復旧・復興について</p> <p>(1)町道・河川などの公共施設、田・水路・農道などの農地・農業用施設の復旧時期を伺う。</p> <p>(2)仮設住宅の「被災者支援相談員」の活動状況及び団地内の自治会としての活動が大切と考えるが、自治会設立に対する町の考えを伺う。</p> <p>(3)被災した家屋の公費解体事業の状況は。また、物置も対象にすべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(4)強い農業・担い手づくり総合支援交付金(被災農業者支援型)の農業機械復旧・農業ハウス復旧の申請は締め切られたが追加の対応はできないのか伺う。</p> <p>(5)「大郷町復興再生ビジョン」を早急に策定すると施政方針で謳っている。総合計画との整合性をどのようにするのか、また業者に作成依頼しているが、町民、特に将来を担う若者の意見はどのように反映させるのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 「町民が安心して暮らせる健康なまち」の施策について</p> <p>(1)重点とする施策と課題を伺う。</p> <p>(2)「ふれあい号」の利用は2日に1回、月に10回と制限されているが、より以上の希望に対して、どうするのか伺う。</p> <p>(3)令和2年度に中学校のトイレの洋式化が計画されているが、道の駅や公共施設等(保健センター、ふれあいセンター21)のトイレの洋式化の計画を伺う。</p> <p>(4)認知症対策について</p> <p>①具体的施策について伺う。</p> <p>②「チームオレンジ」の整備を提案するが考えを伺う。 (認知症サポーターを中心に近隣でチームを組み、見守りや外出支援などを行う。)</p> <p>③研修の受講や支援活動への参加に対し、ボランティアポイントを付与する仕組みを設けてはいかかが伺う。</p>	

④高齢者 ASV（自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ先進安全自動車）購入補助金の創設をする考えはないか伺う。

（生活の足として車が欠かせない高齢者は多い。また雇用拡大も進む中、車に乗る機会の増加も予想される。）

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 新型コロナウイルスの対策について</p> <p>(1)町の感染予防対策はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(2)県(町)内で感染者が発生したときの対策を伺う。</p> <p>(3)病院の受け入れ体制は大丈夫なのか伺う。</p> <p>(4)マスク、アルコール消毒液などの確保はどうするのか伺う。</p> <p>(5)町民への情報の提供はどのように行っていくのか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>
<p>2. 東日本台風災害の復興について</p> <p>(1)道路などの復旧工事が遅れていると思うが、特に県道についてもっと強く要請すべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>(2)土地改良区内の農業施設は、工事着手していないようだが、春の農作業に間に合うのか伺う。</p> <p>(3)春作業に間に合わないと考える町民が、個人で修繕した場合の補助金などの支援はあるのか伺う。</p>	

通 告 要 旨	備 考
<p>1. 防災事業について</p> <p>防災シンポジウム・防災キャンプなどは行えないのか伺う。</p> <p>(1)台風 19 号で被害のあった堤防決壊・避難生活・自主防災を町外の方に知っていただくシンポジウムなどは出来ないのか伺う。</p> <p>(2)道の駅西側駐車場や縁の郷を利用し、防災訓練・防災キャンプのようなイベントは出来ないか伺う。</p>	<p>一問一答方式</p>